

北高夢ロード通信

第5号(2019.7)

デッサン教室や北高成果展 2019 ～北高とのより密接な連携へ～

北高夢ロード実行委員会

会長 波多野宏之

昨年、元木本陶器店さんの空き店舗をご厚意によりお借りして発足した「ギャラリー夢ロード」の活動も2年目に入りました。年4回開催した展示会の概要は、「会報」の各号でお知らせしているところです。この5月に開催された第5回展「有田敏朗銅版画展」では、初めて200名を超す来場者で賑わい、回を重ねるごとにギャラリーの存在が知られるようになってきたように感じます。

豊北・下関北高との連携も徐々に深まり、この4月からは総合文化部の「デッサン教室」が月1回のペースで始まりました。生徒さんがキャンパスを出て、地域の皆さんの目の前で制作に励む、〈サテライト教室〉です。嬉しいことに、生徒たちを元気づける一助にと、通学路にあたる滝部下市自治会さんが補助金予算を組んでくださり、これは夢ロードを仲介役として、生徒のリフレッシュに充てられます。

さらに、この会報が届くはずの7月中旬には、第6回展「北高成果展 2019」が始まっています。開校初年度の昨年は実現できませんでした。諸先生方のご指導を得て、可能な限り、生徒の手による生徒の展示会となります。

このほか、北高との連携は、従来の粟野川ホテル観察会、豊北の水研究、文化祭への参加、読書週間北高図書室展示に加えて、新科目「地域探究」（自然・環境）への協力も開始されます。

こうした活動の展開に伴い、各種外部資金の獲得に注力しており、今年度は新たに「ギャラリー」の活動について山口きらめき財団からの補助金約20万円を受けることが決定しました。ただし、これは事業費の四分之三を補助する仕組みで、残りは自己資金を充てる必要があります。このことも理由の一つですが、安定的な活動展開のため、苦渋の選択ではありましたが、今年度総会で会費の値上げに踏み切らせていただきました。ご理解とご協力をお願いする次第です。

なお、末尾になりましたが、任期満了に伴う役員改選を行い、新体制が発足しました。6年間にわたりご尽力された岡崎会長は副会長に回られ、恒富副会長、末永幹事は退任となりました。恒富氏には雨傘の活動の継続を、末永氏にも活動全般にわたる支援を約していただいています。ともあれ、全体として若返りとなった役員陣をどうぞよろしくお願いいたします。

ギャラリー夢ロード第5回展

有田敏朗銅版画展

2019年5月14日(火)～26日(日)、
標記展示会が開催されました。本会会員
でもある有田氏が近年手がけられている銅版
画15点のほか、銅版の原板と刷り見本、ニ
ードルなども並べられ技法が分かりやすく
示されていました。また、〈アートの本棚〉
所蔵の銅版画入門書や内外の画家の銅版
画作品展カタログ約10点も参考展示され
ました。

期間中には、下関北高総合文化部の生徒
さんをはじめ、スポーツ系の男子高校生も
多く入場してくれました。有田氏在住の豊
浦町の方々や、下関市立美術館で有田氏と
一緒に活動をされている皆さんの来場もあ
り、ギャラリーとしては今回初めて200名
超の来場者を記録しました。

各回とも、広報チラシは下関市市民活動
支援センター経由で公共施設等へ、豊北総
合支所経由で豊北町内自治会の班レベルで
の回覧へ、その他滝部公民館、JR駅、郵
便局等、滝部下市の商店などにはポスター
掲示でもご協力をいただいています。また、
今回は山口新聞(5月16日付)、長周新聞
(5月17日付)、読売新聞(5月22日付)
でとり上げていただきました。



ギャラリーでデッサン教室

北高総合文化部生徒 月1回開催

この4月より〈ギャラリー夢ロード〉で
は、月1回のペースで北高総合文化部生徒
のデッサン教室が開かれています。昨春秋
以降、同校校内で有田敏朗氏が指導さ
れてきましたが、生徒の活動ぶりを市民
の皆さんにも見ていただく、とサ
テライト教室が実現。鉛筆の持ち方か
ら画用紙の水張りなど、細かな指導が
され、あっという間に時間が経ってい
きます。時には、近所の小学生も顔
を見せ、なごやかなひとときも。原則第
3水曜日の午後4時から6時頃まで開催して
います。



夢ロード「音楽の夕べ」

2019年4月27日(土)は、北高夢ロ
ード実行委員会にとって、総会・音楽の夕
べ・交流会と行事の多い日でした。滝部公
民館(太陽館)において、14時から会議
室で北高夢ロード実行委員会の総会があり、
16時から講義室で夢ロード「音楽の夕べ」
があり、17時半から和室で交流会(懇親
会)がありました。

総会と交流会は毎年行っていますが、今
年は総会と交流会の間に地域の人々も参加
できる夢ロード「音楽の夕べ」を皆さん
ボランティア参加で、取り入れました。
管楽器の楽しさ：長州ブラスアンサンブル
(吉田秀樹ほか) 花・おぼろ月夜等 朗読
：金子達 創作民話・鬼の岩と高坪山の鬼
退治(藤岡達雄) みんなで楽しく歌おう
：軽音楽バンドライトハウス(藤岡達雄ほ
か) 瀬戸の花嫁 ふるさと等

夢ロード会員も含め四十余名の方に楽し
んでいただきました。北高生の通学支援や
学習支援ばかりでなく、豊北町の地域に根
付く北高夢ロード実行委員会を目指してい
ます。

令和元年度北高夢ロード実行委員会 総会報告

日時：2019年4月27日（土）14:00～16:00
太陽館 出席正会員 15名 正会員の過半数の出席をもって成立。議長に恒富氏を選出し、議事に入った。

(1) 議案第1号 平成30年度事業報告

・下関北高校開校の幕張が付け加えられ、承認された。

(2) 議案第2号 平成30年度決算 承認

(3) 監査報告

・監事の永富氏欠席のため、会長岡崎氏が報告し、承認された。

(4) 議事第3号 会則一部改正

・第2条 この会を次の所在地に置く。

下関市豊北町大字滝部842番地の6

・第4条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を実施する。

(1) 通学する生徒への傘貸与、休憩場所の提供等。

(2) 図書の見学・貸出、美術作品等の制作・鑑賞機会の提供等。

(3) 地域の歴史・民俗・自然環境等の調査・研究を通じた学習支援活動。

(4) その他本会の活動に必要な事業。

・第5条 (1) 正会員(この会の目的に賛同する個人) (2) 学生会員(この会に賛同する学生) (3) 賛助会員(個人)(この会の目的に賛同し、その事業を賛助する個人) (4) 賛助会員(機関・団体)(この会の目的に賛同し、その事業を賛助する機関・団体)・第7条 この会の会費は、次のとおりとし、年度内に納入しなければならない。

(1) 正会員 2,000円

(2) 学生会員 500円

(3) 賛助会員(個人) 一口5,000円以上

(4) 賛助会員(機関・団体)

一口10,000円以上

・第9条 (1) 会長 1名 (2) 副会長若干名 (3) 監事 1名 (4) 理事若干名

・第10条

3 監事は、会の業務および財産の状況を監査する。

4 理事は、会の業務を執行し、事務局長、

会計などを分任する。

・第14条 役員会は、役員をもって構成する。ただし、監事を除く。

・附則 4 この会則は、第2条、第4条、第5条、第7条、第9条、第10条、第14条を改正し、平成31年4月27日から施行する。以上の太字部分の改正が諮られた。以下のような意見が出された。

○会費の値上げは無理。賛助会員が集まらない。

○値上げするより、今の会費でできる活動を考えて方がよい。当初の目的は会費千円で楽しい活動をすることだった。

○従来は、北高生の通学支援だったが、活動範囲を広げ過ぎているのではないか。

協議の結果、原案賛助会員(個人)の会費一口6,000円以上を、5,000以上に修正のうえ、承認された。

(5) 議事第4号 令和元年度事業計画

・承認

(6) 議事第5号 令和元年度予算

以下のような意見が出された。

○会報・チラシに50,000円もかけるのは問題。ギャラリー改装にもお金をかけすぎている。

○会員を増やして、会費収入を大幅に増やすことができるのか。

賛助会員会費収入等一部修正のうえ承認された。

(7) 議事第6号 役員改選

会長：波多野宏之

副会長：岡崎新太郎

監事：永富輝久

理事：秋枝一成

理事：磯部珠枝

理事：小塩めぐみ

理事：城石郁裕

理事：古田雅士

理事：古屋 優

以上のように承認された。以上

コミュニティ・スクールって何？ なぜ今、コミュニティ・スクール？

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、平成16年9月から、新しい公立学校運営の仕組みとし導入されました。コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民の声を学校運営に直接反映させ、保護者・地域・学校・教育委員会が一体となってより良い学校を作り上げていくことを目指します。コミュニティ・スクールの設置については、保護者や地域住民の意向やニーズを踏まえて、学校を設置する教育委員会が決定する。簡単に言えば、学校運営協議会を設置している学校を、コミュニティ・スクールと呼びます。コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

学校運営協議会の主な役割として、

○校長が作成する学校運営の基本方針を承認する

○学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる

○教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

の3つがあります。

次にコミュニティ・スクールの仕組みを取り入れるメリットとして、主に以下の3つがあげられます。

① 組織的・継続的な体制の構築＝持続可能性

校長や特定の教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「持続可能な仕組み」です。

② 当事者意識・役割分担＝社会総がかり
学校運営協議会や熟議等を通して、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できます。

③ 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

校長が作成する学校運営の「基本方

針の承認」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、「役割分担をもって連携・協働による取組」ができます。

子ども・教職員・保護者・地域の人々にとっての魅力は何でしょうか。次のように考えられます。

☆子どもにとっての魅力

○子どもたちの学びや体験活動が充実します。

○自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。

○地域の担い手としての自覚が高まります。

○防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

☆教職員にとっての魅力

○地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。

○地域人材を活用した教育活動が充実します。

○地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。

☆保護者にとっての魅力

○学校や地域に対する理解が深まります。

○地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。

○保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

☆地域の人々にとっての魅力

○経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。

○学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。

○学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。

○地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

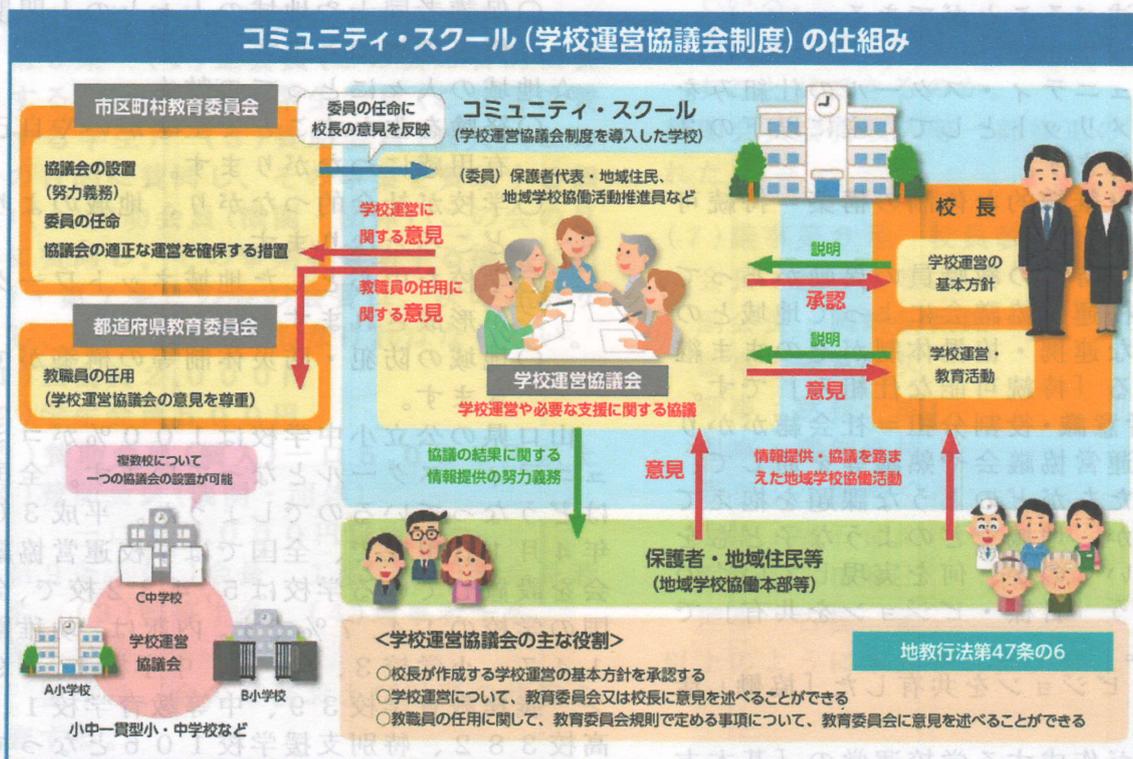
山口県の公立小中学校は100%がコミュニティ・スクールとなっています。全国はどうなっているのでしょうか。平成30年4月1日現在で、全国では学校運営協議会を設置している学校は5,432校で、全国の学校の14.7%です。内訳は、幼稚園147、小学校3,265、中学校1,492、義務教育学校39、中等教育学校1、高校382、特別支援学校106となつて

います。今まで導入が進んでいなかった高等学校のコミュニティ・スクールは前年の65校から382校となりました。文部科学省の目標は、全国の学校の10%をコミュニティ・スクールにすることでしたが、それを大幅に超えました。それはとりもなおさず、コミュニティ・スクールは学校運営に良い影響を与えるからだと考えられます。豊北・下関北高校は、統合当時から学校運営協議会制度を導入しています。全国的に見ても、高校では先駆けのような存在です。これから高校でもコミュニティ・スクールがどんどん進んで行くと思われます。ということは豊北・下関北高校のコミュニティ・スクールは全国的にも注目されることでしょう。北高夢ロードはこれまで豊北・下関北高校を支援してきました。まさに北高夢ロードは豊北・下関北高校学校運営協議会の下部組織のようなものです。これからの私たちの取組も全国的に注目されると思われます。コミュニティ・スクールは学校運営協議会を設置するということだけ義務づけられていて、取組については何も制約はありません。まさに、学校と家庭・地域社会の腕の見せ所だと思います。アイデアを生かし、その地域ならではの連携・協働を図っていく必要があります。

キーワードは「連携・協働」です。学校と家庭・地域社会の連携・協働には3段階あると考えます。まず、第1は、「情報交

換機能・連絡調整機能」です。情報交換は、学校と家庭地域社会が互いに有する情報を交換し、共有し合うことです。最も初期段階の連携です。第2の機能は、相互補完機能です。これは、情報交換・連絡調整を前提にして、学校と家庭・地域社会が施設・設備、人材など自らに欠けるコトやモノ、ヒトを他に求めて補おうとする機能です。第3が協働です。協働機能は学校と家庭・地域社会が共通目的を設定して、その実現のために協働する機能であります。つまり、学校に対して家庭・地域社会が単に手を貸すというのではなく、それぞれが共通の目的意識をもち、その実現のためにできることを自らの役割として行うことです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができ、地域の活性化にもつなげることができます。ただし、地域住民全員がコミュニティ・スクールに直接関与するわけではないので、コミュニティ・スクールの効果は意識が高い一部の保護者、地域住民に限定されてしまいます。また、コミュニティ・スクールに対する意欲があっても、それぞれの個人の事情により参加できない人もいるでしょう。北高夢ロードとしても、これら様々な人にもコミュニティ・スクールに関わってもらえるように、取組を考えていきたいと思っています。



秒速50センチ

秋枝 一成

夏の夜空をホタルが飛び交う、なんて幻想的なんでしょう。でもなんでホタルは光るのでしょうか。ホタルは、コウチュウ目(鞘翅目)・ホタル科に分類される昆虫で発光することで知られています。世界にはおよそ2,000種が生息しているとされています。日本では「ゲンジボタル」、「ヘイケボタル」が有名ですが、40種類くらい生息しています。そのすべてが光るわけではありません。ではなぜ光るようになったのか。光るということは虫の世界では敵に見つかりやすいはずですが。目立ちますからね。それでもホタルが光るのは「敵をおどかす」、「食べたらまずいよという警告」、「雄と雌が出会うためのコミュニケーション」のためだと考えられています。しかし、これだという有力な説はまだはっきりしていないそうです。成虫となったホタルには、腹部の後方の体節に発光器があるから光るのです。呼吸しているときに光っていると思っはいませんか?そうではありません。呼吸を止めているときに光っているそうです。呼吸をしているときは膜が出て光を遮断しているんです。だから、死んだホタルは光っていますよね。その光り方も、国によって違うそうです。日本はうっすらと点いて、うっすらと消えていくという明滅という表現がぴったりだと思います。こんなホタルは世界中どこを探してもいないと言われていました。よその国のホタルははっきり光ってはっきり消えるという点滅型が多いそうです。ある地域にはずっと点き放しの点灯型もいるそうです。ホタルもお国柄を表しているのでしょうか。日本人の奥ゆかしさをホタルも秘めているのでしょうか。悪い意味でいうと優柔不断なののでしょうか。甘い水が大好きで、飛び方もぶきっちょなホタルはみんなから愛されるキャラクターだと思います。

ところでホタルの飛ぶ速度をご存じでしょうか。無風状態で秒速50センチメートルだそうです。この速度が日本人は好きみたいです。春、桜がはらはらと散る速度も同じ。冬、牡丹雪が舞い落ちる速度も秒速50センチ。どれも日本人が好きな光景です。無条件に日本人は好きなのではないでしょうか。なぜでしょうか。人間の大動脈の血流速度も実は秒速50センチなんだそうです。血液の流れと同じ速さだから、ホタルも桜も雪も日本人は、理屈なしに受け入れられるのではないのでしょうか。日本人だけでなく外国の人にも受け入れられるのではないのでしょうか。これはあくまでも私の独自の考えなんです。秒速50センチという速度は私たちの歩く速さと比べてもかなり遅いんですね。でも人間が生活するには最適な速度かも知れません。あわただしい生活の中で、この速度を忘れていたのかも。急いで考えたり、言葉を発したり、行動したりしているからいろんなトラブルを引き起こすのかも知れません。現代社会は忙しいんですね。いつからこんなに忙しくなったのでし

ょうか。ゆっくりしたいですね。そう言えば最近、のんびりと空を眺めたことなんてないですね。今度、雲が形を変えるまでゆっくり空を眺めて見ませんか。心地よいスピードで生きていきたいとつくづく思います。秒速50センチを意識して生活してみませんか。



平成30年度事業報告

- (1) 豊北・下関北高に通学する生徒への傘貸与 傘の数累計 600本
- (2) <アートの本棚>による図書の見学・貸出
 - 笹尾商店での事業継続と<ギャラリー夢ロード>での展示
 - 読書週間 豊北・下関北高図書室での<アートの本棚>展示「決定的瞬間：今日の写真と写真の歴史」10.27～11.9(図書56冊、雑誌約80冊)と『アートの本棚通信』第4号刊行10.27
- (3) <ギャラリー夢ロード>の開設と美術作品等鑑賞機会の提供
 - 第1回展 藤田完爾「おしゃべりなJOMON 人：私の縄文幻夢譚」5.22～6.3(入場者約130名)
 - 第2回展 通学路の移り変わり「北高夢ロード」の5年 8.10～19(入場者87名)
 - 第3回展 「残された原風景：東京、佃・月島界限」吉田成写真展 11.6～18(入場者107名)
 - 第4回展 ミロのヴィーナスからデュシャンまで<アートの本棚>大展示 2.5～17(入場者112名)
- (4) 地域の歴史・民俗・自然環境等の調査・研究を通じた学習支援活動
 - 豊北の水研究1年次
 - 粟野川流域ホタル観察会 5.24(参加38名)
 - 粟野川プロジェクトまとめの会 3.16(参加者20名)
- (5) 「北高夢ロード」5周年 中・高生と考える地域づくり・異文化交流の集い 豊北を世界に、世界を豊北に 第1回地球旅、そしてチュニジア の開催 8.18(参加55名)
- (6) 会報『北高夢ロード通信』第3,4号

刊行(7,3月)

- (7)豊北・下関北高との協同
 - 文化祭への参加「ようこそ先輩」(浜出祭の歴史学：初めて辿る迷路の楽しみ)6.10
 - 「先輩の本棚」第2年次の実施(4名18冊) 豊北図書室での展示会 11.7~25
- (8)地域の関係機関・団体との連携
 - 滝部公民館祭りへの参加 10.27
- (9)ホームページの運用
- (10)下関北高校祝意幕の掲示

令和元年度(2019) 北高夢ロード 実行委員会事業計画

- (1)豊北・下関北高に通学する生徒への傘貸与
- (2)＜アートの本棚＞による図書の閲覧・貸出
- (3)＜ギャラリー夢ロード＞による美術作品等の制作・鑑賞機会の提供
 - ギャラリー展示環境の改善
 - 下関北高総合文化部デッサン教室の開催支援(月1回 10回程度)
 - 第5回展 有田敏郎銅版画展
 - 第6回展 豊北・下関北高生徒の学習成果発表
 - 第7回展 未定(総会時に予定として示された案は諸般の事情により総会後のギャラリー企画委員会で取り下げと決定したため)
 - 第8回展 美術作品を借りよう これこれ「アルトテーク」だ
- (4)地域の歴史・民俗・自然環境等の調査・研究を通じた学習支援活動
 - 豊北の水研究2年次と下関北高2年生授業「地域探究I」への協力
 - 栗野川流域ホタル観察会
 - 歴史研究グループの発足
- (5)第2回異文化交流の集いの開催
- (6)会報『北高夢ロード通信』第5,6号刊行(7,3月)
- (7)豊北・下関北高との協同
 - 文化祭への参加
 - 「ようこそ先輩」講座働きかけ
 - 「先輩の本棚」第3年次の実施
- (8)地域の関係機関・団体との連携
 - 滝部公民館祭りへの参加(10月)ほか
- (9)ホームページの運用

2019-2020年度役員・委員会

- 会長：波多野宏之
- 副会長：岡崎新太郎(会長代行)
- 監事：永富輝久
- 理事：秋枝一成(事務局長)
- 理事：磯部珠枝(会計)
- 理事：小塩めぐみ
- 理事：城石郁裕
- 理事：古田雅士
- 理事：古屋 優

★会報編集委員会

秋枝一成、小塩めぐみ、戸田佐和子、古田雅士、村上智子

★ギャラリー企画委員会

波多野宏之、秋枝一成、有田敏郎、川原一夫、西嶋勝之、藤岡達雄、古屋優

★栗野川調査委員会

岡崎新太郎、藤岡達雄、古田雅士

会費納入のお願い

2019年度会費を同封の振替用紙によりお振込ください。

夢ロード通信 第5号(年2回刊)

2019年7月20日発行

編集：会報編集委員会

(秋枝・小塩・古田・村上・戸田)

発行：北高夢ロード実行委員会

〒759-5511

山口県下関市豊北町滝部842-6

Tel: 083-782-0563

ホームページ：<http://yumeroad.org>

E-mail: kitakoyumeroad@gmail.com